

# 「外国人観光客のマナー問題」

南中学校 2年 米田 芽生

現在の日本では、新型コロナウイルスの水際対策が、大幅に緩和されたことがきっかけで、円安傾向が続いていることも追い風となり、外国人にとっては商品やサービスの割安感が強まっています。なので、外国人観光客が増えています。

そんな外国人観光客のマナーの悪い点は、電車内で大声で話す、行列に並ばずに割り込む、ゴミのポイ捨て、トイレにトイレットペーパーを流さないなどです。マナーが悪いとされる基準は、「価値観の違い」から判断される場合が多くあります。国や文化習慣が異なる外国人観光客の価値観は日本人のものとは異なって当たり前です。何を「マナー違反」「悪いこと」として認識しているかも違ってくるので日本人が思うマナーの悪さは、彼らにとってそうではないかもしれません。

「マナーの悪さ」を回避する日本側の整備不足も原因の1つ「ゴミのポイ捨て」問題を考えてみると、外国人は、日本人よりもどこにゴミを捨てられる場所があるのかを見つけるのは大変です。民泊のゴミ捨て問題も同じです。1週間のゴミ捨てスケジュールが決められていたとして、「金曜日には民泊を出ないといけませんが、生ゴミは月曜日」となれば、外国人観光客ではなくても金曜日に出してしまう人もいるのではないのでしょうか。

「マナーの悪さ」についての原因は様々であり、外国人観光客らの問題だけではありません。すでにルールとして存在するマナーであれば、ルールを知らない彼らに伝えていくことが必要です。

京都市では、長年外国人観光客がマナーを守らないことに悩まされてきました。マナー啓発の取組として、「交通ルールの順守を呼びかける高札」の作成、「マナー啓発チラシ」の作成配布、「ステッカー動画」の作成、他の観光地でも、リーフレットの作成や配布を行うことにより外国人観光客マナーの啓発ができると思います。

実際に京都市内を見て回りました。目立つようなマナートラブルは、見受けられませんでした。いろいろな工夫を施した結果として外国人観光客のマナー向上に成功しています。

でも、気になった点が2つあります。1つ目は、ゴミ箱の少なさです。駅構内には、ゴミ箱がいろんな所に設置されていて困ることはないです。しかし、街中を歩いてみると、ゴミ箱を中々見つけることができず、自動販売機の横にすらありませんでした。外国人観光客がキャリーバックを引きずりながらゴミを持ち歩くのも少し無理があります。キャリーバックをコインロッカーに預けるにも千円程度かかります。これでは、設備はあっても使用することにためらい、間接的にマナー違反に繋がるのではないかと感じられます。2つ目は、日本人のマナーです。京都市視察の帰り、プロ野球観戦帰りの人達と電車が同じでした。彼らは電車の中で大声で騒いだり、床に寝転がっている人もいて、これはどうなんだろうと思いました。また、通勤電車ホームでの日本人の割り込みを見ない日はないと父も話していました。

外国人観光客も外国(日本)に来て自国とは言葉や文化が異なる事は少なからず理解しているはずですが、日本の習慣やマナーを尊重するために、勉強まではせずとも日本人を手本に行動する外国人旅行者も多いと思います。そうすると、日本人こそが外国人旅行者の手本となるような立ち振る舞いを心がけることで、外国人のマナー対策と相まって、トラブル発生を最小限に抑えることができるのではないかと考えます。